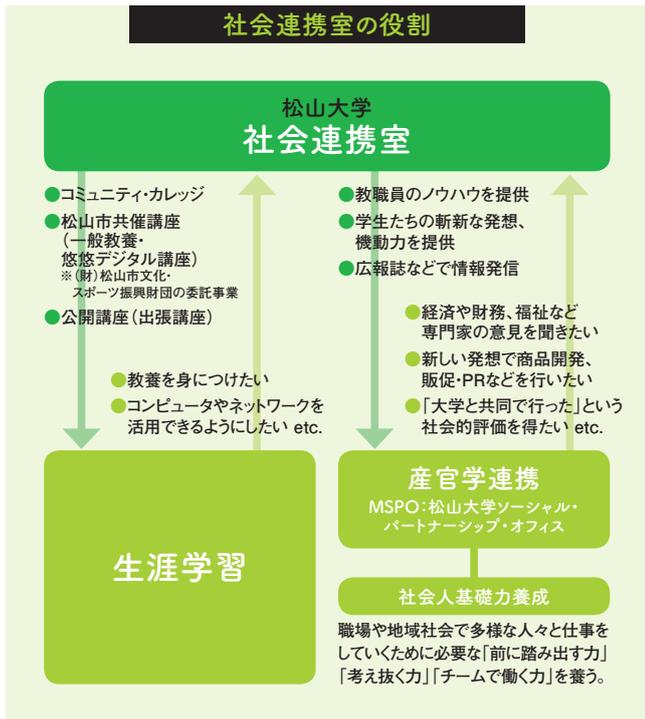


社会連携室のチカラ

TOPICS #01 「社会連携室とは？」

2011年10月1日より、本学内に「社会連携室」が設置された。
研究・教育機関である松山大学がより一層地域に根ざし、社会や産業機関と連携していく様子をレポート！

社会連携室の役割



社会連携室 高岡 秀典 事務長補佐
石井 由香里

松山大学が媒体となり、知的財産と人材を活用することによって地域社会へ貢献すること、企業・団体と連携しながら新しい価値を創造することを

地域とつながる大学へ——社会貢献を目指して始動！

松山大学が媒体となり、知的財産と人材を活用することによって地域社会へ貢献すること、企業・団体と連携しながら新しい価値を創造することを

この事業は2本の柱があり、一つは「生涯学習」。市民を対象にした公開講座を開講し、語学や経済・経営学等、カルチャースクールとは異なる、本学の特色を活かしたアカデミックな学びの場を提供します。もう一つは「産官学の連携」。地域産業・企業からの共同事業依頼の窓口となり、専門家としての教職員の

紹介や学生組織の取りまとめを行い、学外と学内の連携を調整・支援します。さらに、この連携を通して学生たちの「社会人基礎力」を養成することも目的としています。

この2本柱は以前から別々の部署で行ってきた事業ですが、去る10月1日をもって社会連携室が一本化して行うことになりました。これまで以上にスムーズな事業サポートを進め、地域社会への貢献と地域産業の振興に寄与することに努めます。



今後の社会連携室

HPや広報誌により、本学の知的財産、人的資産などについて、情報発信を行い、地域や企業と大学をつなぐ相談窓口としての機能を充実。さらに「MSPOフォーラム」を開講するなど、認知度を高める活動も行っていく。

- 経済や経営について、もっと知りたい
- 福祉や薬学を学んでみたい
- 調査や分析、財務など専門家のノウハウを経営に取り入れたい
- 地域社会の抱える諸問題を解決したい
- 学生の声を活かしてマーケティングをしたい etc.

そんな声をお寄せください！

☎ 社会連携室

☎089-926-8246 (担当:高岡、石井)

これまでの取り組み ~実績の一例を紹介~

松山大学コミュニティ・カレッジ

2010年秋より開講。2011年10月には多種多様なテーマで17講座を開講した。

- 講座の例
- ランニング・クリニック
 - 教科書に載せたい愛媛の歴史
 - 金融講座
 - 英会話
 - 中国語会話
 - シャンソンでフランス語!
 - 初めて学ぶ韓国語
 - 日本語教育入門
- その他、ためぎ学や起業に関する講座 etc.



のうみん社プロジェクト

農産物販売、農産物加工販売ほかを手がける「のうみん(株)」と連携。2009年度は松山産ライムを使用した「松山ライムサイダー Plime(プライム)」、2010年度は愛媛県産ブラッドオレンジを使用した「えひめオレンジサイダー amanza(アマンツァ)」を共同開発・商品化に成功。現在はサイダーの販売促進・PR方法について検討・推進中。



▲えひめオレンジサイダー amanza
▶松山ライムサイダー Plime